



中学3年生「修養会(4/23-27)」(神楽)

## 祈り溢れる

幼いころはいつもキャンパスで遊び回っていた。はしゃぎながら木立の中を行くと、奥まった静かな場所で祈っている、高校生や大学生のお兄さんお姉さんに出会うことがあった。祈るその姿は、普段とは違う清らかな空気に包まれ、「あ、神様とお話しているんだ」と、子供ながらに何か厳粛な思いにさせられたことを思い出す。

そのような光景が懐かしく、広島三育学院のキャンパスでも、あちらこちらで生徒達が祈る姿が見られるようになればとの願いがあった。青年達が自発的に神様と語り合う姿は、なんと美しいものだろうか。目に見えない存在に心を向け、純粋な思いで彼らなりの悩みや願いごとを一心にうったえる、その祈りには本人達の自覚しない力が秘められているだろう。

あるとき人が行き交う廊下で二人の高校生がうつむき、向かい合っていた。最初は何をしているのか解らなかったが、近づいてみると、手を組みお祈りしていることに気がつきハッとさせられた。またある時は、人の気配がするのでその部屋のドアを開けて見ると、数人の生徒達が集まり祈りの組をもっていた。まだイエス様を受入れていない友達のために、仲間が集まり祈り、その祈りが友をバプテスマに導いた。級友のため、教職員のため、家族のため、教会のため、全日本18マラナタ講演会のために、彼らの純真な祈りは今日も続いている。

神様のお導きにより、広島三育学院は気付けば、祈りで溢れるキャンパスになっているような気がする。そして更に生徒達の祈りの波紋がこの学校から広がり、日本中で行われている祈りの輪と重なり、力強い福音のうねりとなることを期待し、願うばかりである。

「あなたは祈り過ぎだから、止めなさい」と、イエス様はおっしゃるだろうか。「聖書を読み過ぎだから、いい加減にしなさい」とも言うだろうか。そして、「祈りと御言葉から得たことを証するのは、遠慮しなさい」と、そう奨められるだろうか。そのようなことは無い気がする。

広島三育学院での生徒達の生活は多忙だ。しかし与えられた時間の中で彼らが心置きなく祈り、御言葉をひも解き、小さな伝道者として証し、奉仕できるような環境を整えることは、三育教育の負う大きな責任の一つであろう。

「祈り、学び、働きつつ前進」。

校長 田淵 裕



### 中 ソフトバレーボール大会 16日

2018年度のソフトボール大会は「Let's be best friends」というテーマで行われました。これはソフトボール大会を通して学年や男女の枠を超えて交流を深め、みんな最高の友だちになろうという意味です。私は、チーム内でもチーム外でも、先輩、後輩、同級生にかかわらず協力し合い、交流を深められて、とてもよいソフトボール大会になったと思います。

心に一番残った出来事があります。相手チームを自分のチームのように応援している人、またそうしたチームがあったことです。私は正直、驚きました。自分のことばかりでなく、相手のことも支えてあげるといふ協力が、この大会をより良いものとしてくれたんだなあーと思いました。こうした協力をこれからの寮生活、学校生活で今まで以上にしっかり活かしていきたいです。大会を祝福し最後まで守ってくださった神様に心から感謝いたします。(研成会副会長 3年)



### 高 球技大会 18日

待ちに待った青春球技大会。この日は本当にきれいな青空で、神様も皆を応援しているように感じられました。チームは14に分けられ、どれも工夫を凝らした手作りのユニークな衣装を身にまといながら、楽しそうにプレーしていました。

一日はあっという間に過ぎて行きました。大会後、ふと振り返ると、ついさっきまで生徒の笑顔や声援であふれていたグラウンドが少し寂しそうに見えました。真っ赤に日焼けした生徒たちは、笑顔でバスに乗ってキャンパスに戻って行きました。最後まで頑張ってくれた瞬間でした。

はじめの頃、私はこの球技大会を企画するに当たり、自分が研成会会長で本当に大丈夫なのだろうか、と、重い責任感に潰されそうになっていました。しかし、たくさんの方からの励まし、助けを通して、本当に良い大会をつくり上げることができたような気がします。この大会を通してチーム三育がさらに素晴らしいものになれば嬉しいです。この大会を支えてくださった一人ひとりと神様に本当に感謝します。(研成会会長)



## 行事報告

### 高 高校祈祷週 22日~28日

今回の祈祷週は、ヤコブの手紙を一通り学んでいきました。私の気づきの一つとして、ヤコブの手紙は、警告が多いと思いました。普段の寮での礼拝などで話される話や、引用される聖句は、一つの箇所を取るため、希望や安心など私にとって聞きやすいものです。しかし、一つの手紙を最初から抜けることなく学んでいくことにより、都合の悪い部分も読まなければなりません。読むにつれ、いかに自分が聖書からはなれているかを気づかされました。そして、そのことを直すことは私だけの力では、どうすることも出来ないと感じました。感動や感謝などで神様に頼り、感じる体験は何度もしてきましたが、自分の知らない所を知り、それを直したいと思い、神様に頼るといことは初めてでした。厳しい聖句を読み、自分の弱さを認め、神様に頼ることも大切なのだと気づかされる週となりました。(3年)



### 中 修養会 23日~27日

私たち中3は4泊5日の行程で沖縄の修養会を経験してきました。充実感あり、あっという間という感もありましたが、たくさんの方を考えると、学ばせていただきました。中でも、私の心に重い記憶として残っているのは糸数アブラガマでした。ガマの中はとて暗く、水が落ちる音だけが聞こえ、外気温との温度差が冷たく地肌にとわりついてくるような場所でした。戦時中、ガマの中でたくさんの方が苦しんで亡くなっていった場所であると想像すると、今の自分の悩みがちっぽけなものに思えてきました。ガマを出た時に、普段は気にもとめない太陽の光が、本当は感謝すべきものだと思えました。修養会中に学んだこと、友達と賛美歌を歌ったこと、部屋で友達と踊ったこと、すべてが私にとって大切な思い出です。このような機会を与えてくださった神様に感謝します。(3年)



## Schedule for the Activities

高等学校		中学校		
14日(月)~17日(木)	定期考査Ⅰ	5月	4/29日(日)~5日(土)	祈祷週(千先勉牧師)
17日(木) 13:00~	中間休み		15日(火)、16日(水)	中間試験
20日(日)	入寮15:00~17:15		16日(水) 12:30~	中間休み
1日(金)	第1回英検1次		20日(日)	入寮14:00~16:15
3日(日)	春季PTA/英検(準1級)	6月	1日(金)	第1回英検1次
15日(金)	第1回漢字検定		3日(日)	春季PTA/英検(準1級)
17日(日)	サマーコンサート		15日(金)	弁論大会 第1回漢字検定
23日(土)~24日(日)	オープンキャンパス		17日(日)	サマーコンサート
			23日(土)~24日(日)	オープンキャンパス